



# 汐見の和

横浜市立汐見台小学校  
令和7年9月25日  
学校だより10月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子

電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409

ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



本校の秋の一大イベント、運動会まで、ちょうど1か月。ご承知のように、6年ぶりに自校での開催となり、子どもたちも職員も、今年の運動会にかける思いは、例年以上に熱くなっております。保護者、地域の皆様にとっても昨年までとはまた違った思いで、本番を楽しみにしていただいているものと思っております。

少しずつではありますが、朝晩の空気などに、涼しさを感じるようになってきましたが、まだまだ、厳しい残暑が続いております。水分補給など、暑さ対策にしっかり取り組み、運動会本番を万全の状態を迎えることができますよう、引き続き取り組んで参ります。

## そこに山があるから

学校長 高村 彰一

運動会のような大きな行事を迎える際、この言葉をよく思い浮かべます。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、この言葉はイギリスの登山家、マロリーが残した言葉です。解釈には諸説ありますが、当時まだ誰も到達していなかった世界最高峰エベレストへの挑戦を前に、記者から「なぜ、あなたはエベレストに登りたかったのか？」という質問に対する答えです。

大げさかもしれませんが、大きな行事を計画、運営するためには、昨年度までの反省を受け、全職員で検討を重ね、子どもたちとも話し合い、その思いを受け、たくさんの時間をかけ進めていきます。子どもも大人もそれぞれの立場や役割を担い、文字通り、全校一体となって運動会の成功に向かって進んでいきます。今年度のように、新しくなった自分の学校の運動場、自分たちの学校での開催となると、その思いは一段と強いものになっていると感じております。

そして、練習を重ねていくと、本番に対する思いが高まっていき、ご家庭においても運動会の歌を歌ったり、ダンスや競技の様子を話したり、場合によっては、実際にダンスを踊ったりする姿も見られているのではないでしょうか。そうすると、学校内だけでなくご家庭をも巻き込んでの一大イベントということになるでしょう。その様子は、さながら大きな山をみんなで力を合わせて登っていくように思えるからです。

大きな行事をみんなで乗り越えていくこのような活動は、人間を大きく成長させます。その組織を構成する全員が一つの大きな目標に向かって力を合わせ、成功や失敗を繰り返しながら本番に向かっていく。これは、子どもたちの学級・学年の集団意識、所属意識を高めることはもちろんのこと、我々職員集団の結束力をも高めてくれます。一見すると、それぞれの立場、役割ごとに違うことをしているようでも、実は“運動会の成功”のためにそれぞれが個人や集団として頑張っている。そして、その頑張りが集まった頂上に運動会の成功があり、みんなで達成感を共有し、次の山へと向かっていきます。

さあ、みんなで登る“山”、少しずつ頂上が見えてきました。みんなで登った先に、どのような景色が待っているのでしょうか。そして、その景色をみんなで共有したときに、どのような思いになっているのでしょうか。きっと、大きな達成感を味わい、それぞれに自分の頑張りを実感し、仲間との一体感に満足し、そして次なる“山”を見据え、新たなチャレンジ精神が生まれていることでしょう。

そのような姿を期待しつつ、子どもたちと、そして皆さまと共に、運動会という“山”を職員一同一歩ずつ、しっかり登って参ります。引き続き、ご支援とご協力をお願いいたします。